
IS がんばってる転生者

狸吉商店

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS がんばってる転生者

【Nコード】

N6768Y

【作者名】

狸吉商店

【あらすじ】

俺死んじやった。テヘツで始まる物語。

「兄さん、おはよう。」

「ああ、おはよう。」

笑顔で挨拶をしてくれる我が妹奏。我ながらいい妹を持った者である。

「今日も学校？」

そうだよ、と笑いながら朝メシのトーストをかじる。いつも通りの朝、これほど気分がいいものはない。

鼻歌を歌いながら家を後にする。駅まで徒歩五分、実に近い。二分ほど歩いた時ふと、あることに気づく。

「あつ論文忘れるところだった。」

これでも東大生である。夢は殺人ウイルスを作ることである。

この目標のために毎日を一生懸命に生きている。

慌てて引き返し、論文を取りに行く。MYルームは日当たりのいい二階である。

そのために毎日つらい階段を上っている。

インドア派には実につらい。軽やかなステップで階段を上っていたそれが幸いして足は宙を舞った。少しの浮遊感、そして大きな衝撃。首から床に落下した。鉄板をたたいたような音がした。そして想像を絶するほどの痛み。

意識がブラックアウトした。畜生、まだ死にたくないよ。

1 (後書き)

処女作なので暖かく見守ってください。

皆さんは「神」というモノを信じれるだろうか？

私は信じれない、いや信じれなかった。

一面白の変な場所につれてこられて一見じじいの「神」とやらに生まれ変わらせてやる。

チカラもやると言われた。だが俺の人生は神様達の遊びとなっているようだ。

だが同じ世界にはいけならしい。俺の知らないどこかの世界のラダムで行くそうだ。

せっかくならもうおうと言うことで厚意に甘えさせてもらった。

チカラは自由を選べた。学生は知識が必要。だからこの世の知識すべてよこせと言ってやった。そしたらこう言いやがったんだ。

「すべてはムリだね、すべてだと無限になってしまう。まあ少しならいいけどね」

あんまりない草にちよつとムカツときた。

「おい神、別にいいだろ。おまえ神なんだからどうにかしろよ。」

「ムリだよ」

この言い合いが数分続いた。

「じゃあ俺の部屋にあるゲームの知識にしてくれ」

「では、ガンダム00とSEED、ゴットイーター、マクロス全般とかになるがいいかな」

「ああ」

これほどの知識があれば世界も侵略できるんじゃないかと思う。でも「神」はこれでは少なすぎるといわれて追加でオラクル細胞とアラガミコア、V型ウィルスをもたらした。どうやら神様たちの遊びだそう。そして俺の運命に「転生」というのが入れられた。これは死んだらまた転生するというやつだ。でもチカラはその人生でどれだけ「神様達」を楽しませたかによって決まるみたいだ。でも、生まれた頃からこんなモノを持っていたらいろいろとヤヴァイと思う。だけど「神」がどうにかしてくれるらしい。

だけど話がすんだら突然おれを開く床で落としかがったんだ。そしてただいま落下中である。気絶しそう。これこわすぎ。もう気絶しそう。とか余計なことを考えていたら突然の衝撃が襲ってきた。階段から落ちたのとは比べようにもならないほどの強さ。体がグチャグチャになった。なぜわかるのかというと、別の視点からこの顛末を見ていたのである。そして新しい俺のカラダは消えていった。

どこか暖かくそしてほのかに明るく、それでいてなぜか安心する、水の中のような浮遊感。ここにずっと居たいと思わせる不思議な場所。そこは人間がみんな生まれる前に胎児として居るはずの場所、

子宮。俺は今そこに居る。きっと生まれ変わったんだろう。あれ本
当に神だったんだな。ちょっと安心した。
まあべつにいいや、一眠りしよう。

MYネームイズイオリア・シュヘンベルグちゃん三歳です。

毎日毎日同じことの繰り返しで参っちゃう。

三歳児はまだ脳の神経細胞が回路を作っていないはずで高度なことは考えることができないはずだし、感情も豊かではないはず・・・でもなぜかこの三歳児は生まれた瞬間からはっきりとした自我があったし、授乳の際の羞恥プレイも恥ずかしがっていたんだよ！

どうなつてんだよ！！の嵐である。

そしてそんな三歳児の夢はガンダム00のイオリアと同じく人類の宇宙進出です。

オス！オライオリア 宇宙に行くと思うとわくわくすつぞ！！さらに神様にもらったV型ウィルスは腸に定着したし、

アラガミコアはどうやら僕の心臓として動いてるみたい。一応精密検査されてもばれないようになっていきます。オラクル細胞は僕の体として動いています。

僕のコアが指令系統の中核であり、脳は通常の脳と同じく判断とか下しています。人と道具の関係の

ように脳が人、道具が僕のコア（心臓）となってます。コアの中にマクロス、ゴットイーター、ガンダムのデータが入っています。

体の中にコンピュータが入っているようなものです。V型ウィルスも制御下においているので今すぐバシユラとも対話ができそうです。でも肝心なバシユラが居ません。トホホ

オラクル細胞を利用してアラガミ化もできるし、

コアが制御下においたオラクル細胞ならどんな形にも変形させれますし、捕食形態にも神器？も生成ができます。オラクル細胞の本能力「進化」も健在で捕食で得たデータをコア内部に蓄積することもできます。食べ物も食べなくても生きていけますし、無機物も食べることができません。もう最強ですね。

一般的な知識は東大を受験下時点で持っていたのでIQは150はあるかと思いません。

この世界が何の世界かわかりませんががんばって生きていきたいです。

3 (後書き)

ネタがないっちゅうね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6768y/>

IS がんばってる転生者

2011年11月20日08時59分発行